



# まつえだより

February  
**2月**



**2月号は、歯周病があると、  
どうして血糖値が高くなるの？**

なぜ、歯肉の炎症である歯周病が糖尿病に関わってくるのでしょうか。出血や膿を出しているような歯周ポケットからは、炎症に関連した化学物質が血管を經由して体中に放出されています。中等度以上の歯周ポケットが口の中全体にある場合、そのポケット表面積の合計は掌(てのひら)と同じ程度と考えられています。歯周ポケットの中身は外からはなかなか見えませんが、手のひらサイズの出血や膿が治療なしで放置されていると考えると、からだ全体からも無視できない問題であることが理解できると思います。



ポケットから出て血流にのった炎症関連の化学物質は、体のなかで血糖値を下げるインスリンを効きにくくします



**(インスリン抵抗性)**。そのため、糖尿病が発症・進行しやすくなります。



## インスリン抵抗性

血糖値上昇

糖尿病

健康寿命低下



肥満  
高血圧  
動脈硬化  
老化促進



がん促進



## 歯周病治療で血糖値が下がる!

「歯周病の治療」とは、患者さん自身のブラッシングによるプラークコントロールをしっかりと行い、歯科医院で炎症の原因となっている歯石を確実に取り除く(スケーリング)ことです。そうすることで歯肉の炎症をコントロールできればインスリン抵抗性が改善し、血糖コントロールも改善するということが報告されています。

歯周病の治療で血糖コントロールが改善



スケーリング・ルートプレーニング(歯石除去)



HbA1cが低下

歯肉の炎症が引くと、  
インスリンが効きにくい体質が改善



バレンタイン フェア

2月1日~14日迄

ハニョイ

☎075-711-8241